

令和2年度東大和市立郷土博物館協議会委員会議（要旨）

開催日時：令和3年3月26日（金）午前10時30分～11時30分

開催場所：東大和市立郷土博物館 会議室

出席委員：石井和光委員 渋谷寿朗委員 目黒トシ子委員 西川晴美委員 中村耕委員
神野善治委員 6名

欠席委員：横尾康幸委員 佐藤千とせ委員

事務局：真如教育長（途中退席）小俣部長（途中退席）・高田課長・坂本館長・濱田主任
・池田主事

○真如教育長より挨拶

○委嘱状伝達

○議題 委員長および副委員長の選出について

委員長は神野委員、副委員長は西川委員に決定

○議題 令和2年度・令和3年度郷土博物館事業について

事務局：資料をもとに令和2年度・令和3年度郷土博物館事業について説明

委員：ハナビリウムを見に来た時に多くの来場者でいっぱいだった。私はラジオを聞いてきたが、マスコミの影響は大きい。うまくPRできればいいと思う。

委員：コロナの影響で遠くに行けなくなり、私の地元の美術館も近場という事で人が増えている。

ハナビリウムの影響で投影回数は増えたか。

事務局：平日は1日1回だが、1日3回投影した時もあった。席は100席あるところ、50席に減らして運用した。

委員：番組は既成の物か。

事務局：上映権を買えば既成の物なので他のプラネタリウムでも投影できるが、東京では当館しか投影していなかった。CGと実写で構成されている。途中で音響が壊れたこともあった。

委員：プラネタリウムで花火という着想はいいと思う。何か科学的な視点は入っているか。

事務局：炎色反応、火薬、歴史、戦争について触れている部分もある。

委員：旧吉岡家住宅の公開はどのように行ったか。

事務局：文化財ガイドは質問があった時に答える方式で実施した。講演会やイベントは密になるので実施しなかったが、例年より多くの方が来場された。

委員：プラネタリウムの解説は聞いていて楽しい。聞いていてよく分かる。年々腕が上がっている。郷土博物館自体が人を温かく迎えてくれる雰囲気がある。

委員：今日は少し早く来て郷土博物館の展示を見学していた。「写真今むかし」の展示は大変よく分かった。桜が丘の写真はあまりないように思う。

事務局：米軍基地や財務局の跡地だったりするので写真があまり残っていない。清水や高木もあまり残されていない。南街に住んでいる方が昔の写真をよく撮影していたので、そのあたりを中心によく残っている。

委員：風景はすぐが変わってしまう。個人宅に保管されているものは、家族写真は多いが風景となると少ない。

委員：コロナの影響があり、郷土博物館も運営が大変だったと思う。こういう時だからこそ新たな発見がある。

話は変わるが、今日配布していただいているマンホールカードの緯度経度はどこを指しているか。

事務局：このマンホールが設置してある緯度経度が記載されている。他にもロット番号が記載されているが、1番となっているものが貴重である。他のマンホールカードと合わせてオークションサイトで販売された事例がある。

委員：東京都薬用植物園では赤外線センサーを使って入場者を集計している。郷土博物館ではどのようにして集計しているか。

事務局：プラネタリウムや企画展示は来場者が正確に把握できる。以前カウンターに、何日間か一日中座り、目視で来場者を確認していたことがあるが、その時に得られた人数をもとに、係数を割り出し、企画展示やプラネタリウムの入場者にかけて推計値を出している。

委員：講座や観察会で来場者の非接触式の体温計は使用しているか。

事務局：屋外だと28℃などと表示されてしまうことがあり使えなかった。マスクは皆付けてきた。

委員：旧吉岡家住宅の秋の公開でシャトルバスがあったのはよかった。知人が遠くから来たが、郷土博物館で吉岡華堂の作品を見ることができた。華堂の作品はあまり見ること

ができない。

土日に狭山緑地に遠くから車が来ている。郷土博物館にも立ち寄っているか。

事務局：全員ではないにしろ、何割か郷土博物館にも立ち寄っている。狭山緑地も満車になることがあった。狭山丘陵がテレビで取り上げられてから増えた。

委員：旧吉岡家住宅のシャトルバスの定員はどの程度だったか。

事務局：バスの定員は25人で、コロナ対策で半分にしたので12, 3人が定員となった。総務管財課の予算で、民間のバスを委託で運用している。

郷土博物館内にもマンホールカードと同じマンホールがあるので是非ご覧いただきたい。

委員：マンホールカードは集めると何かあるのか。

事務局：コレクション性がある。

その他

企画展示「道具いまむかし」を開催している。